

廃棄物処理施設見学バスツアーの実施結果について（平成28年11月開催）

栃木県南環境森林事務所

1 取組の趣旨

一般家庭から出るごみや住宅の解体工事、製造工場等から出るごみ等を処理する廃棄物処理施設は、県民の皆様の生活や地域の経済活動を支えるために必要不可欠なものです。

しかし、普段の生活でそのような施設を実際に見ることができる機会は少ないと思います。

そこで、県では、平成23年度から、県民の皆様に直接施設を見学していただき、廃棄物処理施設に対する理解を深めてもらうことを目的としたバスツアーを企画しています。

2 ツアーコンセプト

今回のツアーでは、「使用済油のリサイクル施設」、「廃自動車のリサイクル施設」におけるリサイクル処理（再資源化）や、「シューズ等の製造工場」における廃棄物の排出抑制や再生利用に向けた取組等について、直接企業の話聞くことにより、廃棄物や廃棄物処理施設について学んでいただけるようなツアーとしました。

3 実施日

平成28年11月23日（水曜日）

4 参加者

39名（うち小学生3名）

5 見学ルート

9:00 安蘇庁舎出発

9:35～10:55 (株)吉川油脂

13:10～15:00 アキレス(株)足利第一工場

15:20～16:35 (株)エコアール

17:00 安蘇庁舎到着

【佐野市にある使用済油のリサイクル施設。使い終わった食用油から不純物を取り除き（精製）、飼料やせっけん等の原料用再生油にリサイクルする工程を見学】

【足利市にあるシューズ等の製造工場。上履きと長靴の生産工程、廃棄物の排出抑制や再資源化の取組を見学】

【足利市にある廃自動車のリサイクル施設。使わなくなった自動車の解体、再資源化の工程を見学】

6 当日の様子

- 施設見学の際には多くの質問があり、参加者と事業者との間で活発なやりとりが行われました。
- 参加者からは「日頃見学できない所が見学できて良かった」、「各施設の説明がとても参考になり、有意義でした」、「3つの企業に特徴があり、とても興味深かったです」、「これからもバスツアー楽しみにしています」等の御意見をいただきました。

7 今後の取組等について

県では、廃棄物処理施設に対する理解を深めていただくため、今後も様々な事業を行っていく予定です。内容等については、県廃棄物対策課ホームページ等でお知らせしていきます。



廃棄物処理施設見学バスツアー(平成 28 年 11 月開催)アンケート結果

○参加者: **39名**

○有効アンケート回答数: **39件**

(単位: 名)

Q.1 性別 & Q.2 年代

男性	女性	～12	13～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～
23	16	3	0	0	1	4	6	25

Q.3 このバスツアーの情報源(複数回答有)

①ホームページ	②県民だより	③新聞	④市広報	⑤学校の紹介	⑥家族・友人の紹介	⑦その他
4	6	5	17	2	4	2

Q.4 参加の理由(複数回答有)

①環境・廃棄物に興味があったから	②処理施設を見たことがなかったから	③その他
21	18	3

Q.5 各工場の感想

見学先	①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④無回答
(株)吉川油脂	37	0	1	1
アキレス(株)足利第一工場	34	0	4	1
(株)エコアール	35	0	2	2

○(株)吉川油脂の感想

- ・廃食用油のリサイクルの実態が良く理解できた。日常生活に生かせるヒントを得られた。
- ・廃食用油が有効利用されているので感心した。家畜のえさになるとは知らなかった。

○アキレス(株)足利第一工場の感想:

- ・廃棄品の靴のソールを材料の一部としてリサイクルし、ごみを減らしていることが分かった。
- ・ふだん見られない工場内を見学出来て良かった。ごみの分別がすばらしい。

○(株)エコアールの感想:

- ・廃自動車も無駄なく活用されている現状を知ることができた。
- ・自動車のリサイクルの現場を見学し、再資源化・再利用の大切さを学ぶことができた。

Q.6 今回のバスツアーは、廃棄物の処理や廃棄物処理施設に対する理解を深める上で参考になりましたか。

①参考になった	②参考にならなかった	③どちらでもない	④無回答
36	0	0	3

Q.7 Q6で「参考になった」と回答した方は、具体的に何の理解が深まりましたか。(複数回答有)

①処理施設の役割	②処理施設の安全性	③処理業者の取組姿勢	④製造業者の取組姿勢	⑤その他
23	9	31	12	0